タイ王立スワンクラーブランシット校への3回目の短期交流留学を行いました

2016 年7月 28 日～8月 4 日の日程でタイ王立スワンクラーブヴィッタヤーライランシット校に本校1年生4名と2年生4人、引率1名の計9人が訪問して交流しました。この短期交換留学プログラムは、2011 年から始まり、隔年ごとに相互に訪問してホームステイをしながら授業に参加してきました。今回で互いに3回の訪問になります。短期留学プログラムは以下の日程で行い、全日程の宿泊はスワンクラーブランシット校生徒の受け入れ家庭にホームステイを行いました。

	月日	研修内容
1	7/28(木)	11:00 中部国際空港発～タイ国際空港～ランシット校～ホームステイ家族に宿泊
2	7/29(金)	朝礼(東海大諏訪高校留学生の紹介)／授業参加
3	7/30(土)	ホームステイ家族と観光（バンコク市内観光、アユタヤ遺跡観光、水上マーケットなど）
4	7/31(日)	ホームステイ家族と観光（バンコク市内観光、アユタヤ遺跡観光、水上マーケットなど）
5	8/1(月)	授業参加
6	8/2(火)	授業参加
7	8/3(水)	協定書調印式／交流会（学校・国・市の紹介、両校出し物）／授業参加
8	8/4(木)	10:45 タイ国際空港発～名古屋国際空港～学校／解散 23：30

本校が訪問したタイ王立スワンクラーブヴィッタヤーナランシット校は、首都バンコクから車で 40 分程度のところにあって、生徒約 3400 人が学ぶ中高一貫教育校です。卒業生の 98%が大学進学という、学校があるパトゥムターニー県ではトップの進学校であり、系列校 10 校の中にはタイ首相4名を輩出した高校もあるという名門校でした。

「微笑みの国」といわれるタイの皆さんは、皆親切でした。いつも優しく気遣ってくれるので、授業でも、ホームステイでも、積極的にコミュニケーションとることができました。参加した生徒からは、知らない所に飛び込む度胸がついた、国際理解が深まった、英語の勉強をもっと頑張りたいなどの声が聞かれました。7泊8日すべてホームステイの日程でしたが、慣れない環境にも適応し、皆一回りたくましくなって帰国しました。

≪スアンクラーブランシット校校舎≫

≪ホストファミリーとの対面≫

≪朝礼で紹介≫

≪英語の授業≫

≪民族楽器の授業≫

≪民族舞踊の授業≫

≪日本語の授業≫

≪交流会で茅野市の紹介≫

≪交流会・一緒にダンス≫

タイ王立スアンクラーブランシット学校と本校との相互連携協定書を交換しました

今回のタイ訪問の期間中にあたる８月３日（水）に、タイ王立スワンクラーブヴィッタヤーライランシット学校のホールにて、スアンクラーブ学校と本校の互いの生徒の交流を目的とした相互連携の協定書を交わす調印式を行いました。これは、この「短期交換留学プロジェクト」が今回の本校の訪問でそれぞれ３回目になったことを機に、今後も正式に学校間の取り組みとして交流を続けるため、両校間で協定を締結することになったものです。

朝８時からの調印式には、スアンクラーブ校からはソムチャイ校長、副校長と関係する先生、生徒の一部の合計約７００名、本校からは校長の代理として小口副校長、東海大学 ASEAN オフィスから富田先生、短期留学中の生徒８名が出席し、式典用に準備された大ホールのステージで厳かに調印を行いました。

その後、両校生徒による交流会となり、それぞれが学校紹介、国と市の紹介、準備した出し物を発表して交流を深めました。この交流は、今年１０月にスアンクラーブ校からの短期留学生を迎え、今後さらに交互に訪問を繰り返す予定です。

≪協定書交換≫

≪記念品交換≫

≪校歌斉唱≫

≪本校留学生と受け入れクラス生徒≫